

令和 5 年 12 月 27 日
横浜信用金庫

《よこしん》景気動向調査結果について —2023 年 10~12 月期実績、2024 年 1~3 月期予想—

横浜信用金庫（理事長 大前 茂）では、定例（四半期）の「景気動向調査」を実施いたしました。調査結果の概要は以下のとおりです。

【業況判断D I】全業種総合業況判断D Iは小幅ながら悪化、来期は改善する見込み

- 今期（2023 年 10~12 月期）の全業種総合業況判断D Iは、前期比 0.1 ポイント低下の 6.4 と小幅ながら悪化に転じた。来期は、今期比 1.2 ポイント上昇の 7.6 を見込んでいる。
- 製造業の今期業況判断D Iは、前期比 3.9 ポイント低下の -0.4 となった。来期は、今期比 5.7 ポイント上昇の 5.3 を見込んでいる。
- 非製造業の今期業況判断D Iは、前期比 1.8 ポイント上昇の 9.8 となった。来期は、今期比 1.1 ポイント低下の 8.7 を見込んでいる。

【特別調査】2024 年（令和 6 年）の経営見通しについて

・2024 年の日本の景気の見通しについて		普通（41.6%）
・2024 年の自社の業況（景気）について		普通（57.7%）
・2024 年の貴社の売上額の伸び率について		変わらない（53.0%）
・自社の業況が上向き時期について		すでに上向いている（32.7%）
・2024 年の価格面の見通しについて	販売価格	緩やかな上昇（10%未満）（50.2%）
	仕入価格	緩やかな上昇（10%未満）（59.2%）

<調査概要>

調査対象：当金庫取引先（法人・個人事業者）678 先 有効回答数：674 先

調査方法：営業店職員による聞き取り調査 調査時期：令和 5 年 12 月上旬

※その他詳細につきましては、「《よこしん》HP⇒法人のお客さま⇒景気動向調査」をご覧ください。

以上

== お問い合わせ先：経営企画部 萩原・高橋（電話：045-680-6912） ==